

令和 8 年 9 月 1 日

水道事業会計決算説明

9 月 定 例 会 議

常 総 市



認定第6号 令和7年度常総市水道事業会計決算についてご説明申し上げます。

はじめに、決算報告書についてご説明申し上げます。

収益的収入につきましては、予算額の16億8千49万1千円に対し、決算額は15億6千9百77万3千18円で、3千8百72万6千82円の減でございます。収益的支出につきましては、予算額の16億2千20万円に対し、決算額は15億5千7百15万7千4百25円で、4千5百4万2千5百75円の不用額が生じました。

次に、資本的収入につきましては、予算額の7億9千62万7千円に対し、決算額は6億1千8百48万8千円で、1億7千3百13万9千円の減でございます。資本的支出につきましては、予算額の11億6千4百13万5千円に対し、決算額は8億4千92万5千7百51円、翌年度繰越額3億8百96万円を差し引きますと、1千3百24万9千2百49円の不用額が生じました。収入が支出に不足する額3億6千5百83万7千7百51円は、過年度損益勘定留保資金3億2千5百万5千9百21円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額4千83万1千8百30円で補填いたしました。

次に、損益計算書についてご説明申し上げます。営業収益は12億5千6百37万2千9百31円で、営業費用は14億1千2百63万1千9百42円でございます。営業外収益は1億8千7百46万5千8百81円で、営業外費用は5千9百10万4千8百89円で、収益から費用を差引いた当年度純損失は、2千7百89万8千19円となり、前年度繰越利益剰余金の3億8千4百52万百31円を加算しますと、当年度未処分利益剰余金は、3億5千6百62万2千百12円となります。

次に、剰余金計算書についてご説明申し上げます。資本金の前年度末残高及び当年度末残高は42億4千25万5千15円で、前年と同額でございます。

また、剰余金のうち資本剰余金の当年度末残高は9千3百98万6千9百10円で、前年と同額でございます。

なお、利益剰余金のうち、建設改良積立金の当年度末残高は9千5百35万6千68円で、前年度末残高と同額でございます。未処分利益剰余金は、損益計算書のとおり、令和7年度末残高が3億5千6百62万2千百12円となっております。

次に、剰余金処分計算書についてご説明申し上げます。令和7年度未処分利益剰余金が3億5千6百62万2千百12円で、そのまま翌年度への繰越となります。

最後に、貸借対照表についてご説明申し上げます。資産の部では、固定資産が109億3千8百98万6千8百54円、流動資産が19億3千8百3万5千4百63円で、資産の合計は128億7千7百2万2千3百17円となります。負債の部では、固定負債が35億6千7百91万8千4百18円、流動負債が8億2千7百68万3千8百34円、繰延収益の合計は36億9千5百19万9千9百60円で、負債合計は80億9千80万2千2百12円でございます。資本の部では、資本金が42億4千25万5千15円、剰余金が5億4千5百96万5千90円で、負債資本の合計は128億7千7百2万2千3百17円となり、貸借は一致しております。

以上が令和7年度常総市水道事業会計決算の概要でございます。

詳細につきましては、特別委員会においてご説明申し上げますので、ご審議賜りますようよろしくお願い申し上げます。